

平成30年第2回教育委員会会議録

日 時	平成30年2月27日（火） 開会13：30 閉会15：15
場 所	教育長室
出席委員	教育長 宮崎 肇 委員 佐々木 義朗 委員 荒井 由紀恵 委員 橋場 正人 委員 吉村 恭子
欠席委員	—
事務局職員	教育部長 島倉 弘行 教育部次長 澤田 徹 教育部学校指導室長 加賀谷 隆 企画総務課長 米山 伸哉 生涯学習課長 小野寺 康広 学校給食センター長 森井 茂 学校指導課長 佐藤 貢
書 記	企画総務課総務係長 田中 稔大
議題及び議事の概要	別紙のとおり

## 1 第2回教育委員会会議付議事件及び結果表

平成30年2月27日 13:30開会

15:15閉会

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	教育委員会職員の任免について	原案可決
議案第2号	千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について	原案可決
議案第3号	平成29年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について	原案可決
議案第4号	千歳市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第5号	千歳市学校運営協議会規則の制定について	原案可決
報告第1号	平成29年度ハイパーQU検査（11月実施）の結果について	報告済
報告第2号	平成30年度公益財団法人千歳青少年教育財団事業計画及び予算について	報告済

## 2 議題及び会議の概要

教育長	<p>それでは、平成30年 第2回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>議案第1号につきましては、人事に関する議事であるため、秘密会にしたいと考えます。よろしいでしょうか。</p>
委員	一同了承
教育長	日程2 会議録の承認について、お願いします。
総務係長	<p>平成30年1月31日に開催されました平成30年第1回教育委員会会議は、議案が1件、報告が1件ございました。</p> <p>議案につきましては、議案第1号 千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について、原案のとおりご決定いただいております。</p> <p>また、報告につきましては、報告第1号 平成30年千歳市成人式「はたちのつどい」の実施結果について、報告済みとさせていただきます。以上でございます。</p>
教育長	会議録の承認の件は、よろしいでしょうか。
委員	一同了承
教育長	<p>それでは、日程3 教育長の報告に入ります。校長会の資料をご覧くださいと思います。</p> <p>お手元の校長会資料をご覧くださいと思います。 (資料に沿って、次の内容について説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職員の働き方改革について <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度から学校閉庁日を試行</li> </ul> </li> <li>2. コミュニティ・スクールの導入について <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究指定校のみならず、その他の学校においても、準備を計画的に進めること。</li> </ul> </li> <li>3. 学校におけるインフルエンザ対策について</li> <li>4. スケート授業等による事故の防止について</li> <li>5. 体罰に関する調査票回収状況</li> <li>6. 平成30年度当初人事</li> <li>7. 平成30年度の教育予算</li> </ol> <p>その他連絡事項は、記載のとおりです。</p> <p>私からの報告は以上となりますが、この件について、何かご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。</p>

委員	一同了承
教育長	<p>それでは、日程4 議案に入りたいと思います。</p> <p>議案第1号 教育委員会職員の任免について、説明をお願いします。</p>
委員	一同了承（秘密会：原案可決）
教育長	<p>それでは、議案第1号については、決定としたいと思います。</p> <p>続きまして、議案第2号 千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>議案第2号 平成30年千歳市議会第1回定例会に平成30年度教育行政執行方針及び教育行政の諸般について報告するため、本案を提出するものであります。</p> <p>（別冊 教育行政執行方針及び教育行政報告書 読み上げ）</p> <p>以上、提案内容について、ご説明申し上げました。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>只今、朗読がありましたが、ご意見ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>議案第2号につきましては、只今の内容で決定することによろしいでしょうか。</p>
委員	一同了承（原案可決）
教育長	<p>原案のとおり決定させていただきます。</p> <p>続きまして、議案第3号 平成29年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>議案第3号 平成29年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、説明いたします。</p> <p>提案理由であります、平成30年千歳市議会第1回定例会において、予算を補正するため、本案を提出するものであります。</p> <p>はじめに、企画総務課分であります。</p> <p>1点目の寄附金（奨学基金）であります、補正項目は、ア歳入につきまして、18款 1項 1目 寄附金に7,825千円を追加し、次にイ歳出につきまして、10款 教育費 1項 教育総務費 1目 教育委員会費に7,825千円を追加するものであります。</p> <p>補正理由につきましては、寄附採納があったことから、奨学基金に充当</p>

するため関係する歳入及び歳出予算を補正するものであります。

補正内容であります。歳入の寄附金につきましては、平成29年10月19日から平成30年1月17日までに寄附採納があった239件、7,825千円を寄附金として、増額補正するものであります。また、歳出の積立金につきましては、歳入予算として増額補正する寄附金額7,825千円全額を奨学基金積立金として、増額補正するものであります。

参考として、奨学基金への寄附採納の状況、平成30年第1回定例会補正後の基金残高、寄附採納の内訳を掲載しております。

次に、2点目の小学校改修事業費についてであります。

補正項目は、ア歳入につきまして、22款 1項 市債 7目 教育債の3,500千円を減額し、次にイ歳出につきまして、10款 教育費 2項 小学校費 2目 小学校営繕費の5,434千円を減額するものであります。

補正理由につきましては、工事完了により契約額が確定し差額が生じたため、関係する歳入及び歳出予算を補正するものであります。

補正内容につきましては、学校施設の老朽化など、改修工事を実施して環境改善を図っておりますが、工事の完了により契約額が確定したため、歳出予算、歳入予算を減額補正するものであります。

続いて、3点目の小学校非構造部材耐震化事業費についてであります。

補正項目は、ア歳入につきまして、15款 国庫支出金 2項 国庫補助金 6目 教育費国庫補助金の1,859千円を減額、また、22款 1項 市債 7目 教育債の3,100千円を減額し、次にイ歳出につきまして、10款 教育費 2項 小学校費 2目 小学校営繕費の5,232千円を減額するものであります。

補正理由につきましては、工事完了により契約額が確定し差額が生じたため、関係する歳入及び歳出予算を補正するものであります。

補正内容につきましては、震災時における天井材など「非構造部材」の落下防止に対応する耐震化工事を実施しておりますが、工事の完了により契約額が確定し、差額が生じ、歳出予算及び対応する歳入予算を減額補正するものであります。

続いて、4点目の中学校防音機能復旧事業費についてであります。

補正項目は、ア歳入につきまして、15款 国庫支出金 2項 国庫補助金 6目 教育費国庫補助金の5,615千円を減額、また、22款 1項 市債 7目 教育債の600千円を減額し、次にイ歳出につきまして、10款 教育費 3項 中学校費 2目 中学校営繕費の6,223千円を減額するものであります。

補正理由につきましては、工事完了により契約額が確定し差額が生じたため、関係する歳入及び歳出予算を補正するものであります。

補正内容につきましては、航空自衛隊千歳基地における航空機の発着時等に生じる騒音に対応するため、換気設備等の更新工事を実施して環境改善を図っておりますが、工事完了により契約額が確定し差額が生じたた

<p>学校給食センター長</p>	<p>め、関係する歳入及び歳出予算を補正するものであります。</p> <p>続きまして、学校給食センターに関わる 5 給食提供業務経費需用費について、ご説明いたします。</p> <p>補正項目は、歳出で、10款 教育費 6項 保健体育費 2目 給食センター費の11節 需用費の燃料費13,045千円に1,335千円を追加し、補正後の予算額を14,380千円にするものであります。</p> <p>補正理由であります、学校給食センターでは、A重油を使用する蒸気ボイラー及び温水ボイラーをそれぞれ2基設置し、給食の調理に使用のお湯や窯及び食器食缶等の消毒に使用する蒸気、施設の給湯及び暖房を行っておりますが、平成29年度当初予算でのA重油は、単価71.28円、年間購入量183,0000 を見込み、13,045千円を計上しておりましたが、A重油価格は、4月の年度当初から71.28円を上回って推移し、平成30年1月現在では、84.24円になっております。このため、年度末には1,334,120円の不足が見込まれることから、給食提供業務経費 11節 需用費の燃料費を増額補正するものであります。</p> <p>補正内容につきましては、直近の1月の単価84.24円により、2月、3月の支払見込額を試算して、年間執行見込額を算定したところ、予算額に対して、1,334,120円の不足が見込まれることから、不足分を増額補正するものであります。</p> <p>以上のとおり、議案第3号 平成29年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、提案いたしますので、よろしくご審議ご決定くださいますよう、お願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>只今の説明に対しまして、何かご意見ご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>一同了承（原案可決）</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、決定としたいと思います。</p> <p>続きまして、議案第4号 千歳市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について、説明をお願いします。</p>
<p>学校給食センター長</p>	<p>議案第4号 千歳市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について、ご説明いたします。</p> <p>提案理由であります、各学校からの要望を踏まえ、年間の給食実施回数を拡大することにより、授業時数の確保や学力向上の取組など、学校活動の更なる充実を図るため、本案を提出するものであります。</p>

	<p>(別紙 千歳市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則 資料 新旧対照表 読み上げ)</p> <p>以上のおり提案いたしますので、よろしくご審議ご決定くださいますよう、お願いいたします。</p>
教育長	<p>只今の説明に対しまして、何かご意見ご質問等ありますでしょうか。 よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、この内容で決定としたいと思います。 続きまして、議案第5号 千歳市学校運営協議会規則の制定について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>議案第5号 千歳市学校運営協議会規則の制定について、ご説明いたします。</p> <p>提案理由であります、保護者や地域が学校運営に参画し、学校・家庭・地域が一体となって子どもの豊かな育ちと学びを支える「コミュニティ・スクール」を導入するため、本案を提出するものであります。</p> <p>千歳市学校運営協議会規則は別紙のおりとなりますが、制定にあたってのポイントについて、説明をいたします。</p> <p>制定に当たっては、文部科学省の学校運営協議会設置の手引きの運営協議会規則の例、及び平成29年3月に出示されました地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う学校運営協議会規則改正のポイントを参考にしました。</p> <p>ポイントを説明いたしますと、まず第5条の学校運営等に関する意見の申し出について、とありますが、この部分につきましては、国が示す学校運営協議会規則の例では、教職員の任用に関する意見の申し出として、当該指定校の職員の採用、その他任用に関する事項について、教育委員会を経由し、都道府県教育委員会に対して意見を述べることができると定められておりましたが、当該意見については、学校運営の混乱につながる恐れがあること、採用や任用に当たっては様々な要素を踏まえ、教育委員会と都道府県との協議によって決定されること、学校運営協議会規則の項目に入れるかどうかについては、それぞれの市町村の任意とされていることから、本市の学校運営協議会規則には教職員の任用に関する意見の申し出については、盛り込まないこととしました。</p> <p>続きまして、第8条の委員の委嘱又は任命についてであります、協議会委員の人数については、現在のモデル校3校の委員構成を参考に15名以</p>

	<p>内としました。モデル校3校の委員数は、高台小学校が12名、青葉中学校が15名、駒里小中学校が9名であり、これらを参考に15名としました。第10条の任期についてであります。他市の事例や市の一般的な審議会等の任期を参考に2年としております。次に第11条の委員の報酬は別に定めるについてであります。この報酬については、月1回程度の会議を想定して500円×12か月の年額6,000円を予定しております。この6,000円については、学校評議員と同額となっております。内容については、別途定めることとしております。</p> <p>説明は以上であります。</p>
教育長	<p>只今の説明に対しまして、何かご意見ご質問等ありますでしょうか。それでは、私の方から2点よろしいですか。</p> <p>1点目は、第8条の15名の根拠を、他市の例や文部科学省が示す例などを含めて、2点目は、任期を2年にした根拠を、先行市の事例や文部科学省が示す例などを含めて、もう少し明確に説明してください。</p>
企画総務課長	<p>委員の人数については、昨年に視察した世田谷区は10名以内、三鷹市は30名以内となっており、文部科学省からは示されていません。</p> <p>任期については、北広島市は2年、昨年に視察した先進市の世田谷区、三鷹市でも2年となっております。文部科学省からは特に示されていません。</p>
学校指導課長	<p>千歳市では、小規模校から大規模校までいろいろあるのですが、今回の案の第3条にありますように、2つ以上の学校運営協議会が相互に密接な連携を図る必要があると認める場合には、2つ以上の学校について、1つの協議会を置くことができることとしています。例えば、青葉中学校と日の出小学校と祝梅小学校が同じ学校運営協議会でやってもよいこととなります。先ほど、説明のありました三鷹市は、学園として30名で、10名、10名、10名などと分担して、ある10名は学校の運営を評価する評価部会、ある10名は地域ボランティアを発掘する学校支援部会など、先進事例では、役割分担をして3グループくらいに分けているところが多いです。ですから、千歳市の規模から考えると、5名ずつの3部会とすると15名くらいが適正と考えています。しかし、小規模校になると15名を確保するのはなかなか困難なのかなということもありまして、下限は設けないということで検討してきたところでもあります。</p>
教育長	<p>わかりました。中学校区全体の運営協議会ということになると、今の説明のような人数が必要ではないかということでありました。</p>

委員	<p>ほかに質問やご意見等ありますか。よろしいですか。</p> <p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、この内容で決定したいと思います。</p> <p>続きまして、日程の5 報告に入ります。まず、報告第1号 平成29年度ハイパーQ U検査(11月実施)の結果について、説明をお願いします。</p>
学校指導課長	<p>報告第1号 平成29年度ハイパーQ U検査(11月実施)の結果について、報告いたします。</p> <p>ハイパーQ U検査の結果につきましては、昨年10月開催の第11回教育委員会会議において、本検査6月実施分の報告をいたしました。今回は、その後、各学校の取組によって学習集団がどう変化しているかを分析しております。本検査結果から見る本市児童生徒の「学校生活意欲」について、説明いたします。</p> <p>まずは、小学校の学校生活意欲総合点ですが、全国を100とした数値の青色の棒グラフから、どの学年においても、全国を超えていることがわかります。同一集団における学校生活意欲総合点の経年変化であります。前回数値の低かった小学校2年生を含め、学年が上がるに従って向上し、全国比105～106のレベルに到達しています。この「学校生活意欲」の数値は「学級の雰囲気」「友達関係」「学習意欲」の3領域の総合点として算出されますが、続く緑色のグラフはその3領域の中から「学習意欲」について取り立てたものです。「学習意欲」は全国比101～108のレベルにあり、学年による差が大きいです。前回の報告で、どの学習集団も4年生で向上が見られたことから、この時点でのレベルを低下させないことが課題とのお話をしましたが、今回の調査において、高いレベルを維持しており、よい傾向と判断しております。</p> <p>続いて、中学生の結果です。グラフの構成は小学校と同じです。3年生は6月の1回のみの実施ですのでデータはございません。全てのグラフにおいて全国を超えていることがわかります。これまでの調査では1年生の6月調査の数値が最も高く、11月調査において低下し、その後の低下傾向が止まらずにいたのですが、今回の調査では低下の抑制が見られ、2年生では向上しています。同様に「学習意欲」のグラフを見ましても、6月より低下傾向にあるものの、その度合いが例年よりも抑制されています。</p> <p>中学校の「学校生活意欲」は小学校と異なり、「友人との関係」「学習意欲」「教師との関係」「学級との関係」「進路意識」の5領域の総合点であります。「進路意識」においても1年生6月調査以降、大きな低下を抑えることが課題でありましたが、今回の調査では2年生は向上へと転じ、1</p>

年生も低下の幅が少なく、よい傾向が見られます。

次に、学級満足度を学年ごとにお示ししています。良好な親和的学級集団は6月と比較すると、中学校1年生を除き、その出現率が高まっています。それと呼応するように、不安定な学級集団の出現率も中学校1年生を除き、減少しています。

次にソーシャルスキルですが、ソーシャルスキルとして、「配慮」「かかわり」という用語が出てきます。「配慮」については、「友達の気持ちを考えながら話をしている」「友達との約束は守っている」など8つの質問を児童生徒に問うています。「かかわり」は「みんなのためになることを見つけて実行している」「ほかの人に左右されず、自分の考えで行動している」など、やはり8つの質問を児童生徒に問うています。このソーシャルスキルについては、どの学年においても全国平均を超えており、中学校2年生で大きく向上しています。

次に「学力とのクロス集計」です。A群は「学力が高く、学校生活満足群とその周辺に属する児童生徒」、B1群は「学力が高く、不満足群、非承認群、侵害行為認知群に属する生徒」、B2群は「学力は高くないが学級生活満足群とその周辺に属する児童生徒」であり、この3群の合計点が高ければ、一斉指導の対応量が少なくなるといわれ、全国平均は70%とされています。市内小中学校の全学年において、70%を超えており、学級において一斉指導の対応量が少なく、指導しやすいという結果が出ています。しかし、学校ごとに見ますと、学校間の格差が見られ、対応に課題を残しているところがあります。

最後に今後の課題として3点挙げております。

1つ目は、活用計画の充実です。本検査は6月と11月に実施しております。その2回を検証機会として、年間の計画を策定することが必要です。

2つ目は、分析と対応の促進です。個別の支援を必要とする児童生徒や指導が困難な学級へどうアプローチするかを校内全体で具体的に申し合わせ、その取組を徹底することが重要です。

3つ目は、学校改善の指標としての活用です。学級集団が教育環境として作用することを強く認識し、学年・学級の状態の推移を捉え、マイナスの変化が生じているときには、指導の改善を確実に進めることが必要です。また、小学校では4年生での向上傾向を保ち、5年生につなげること、中学校においては、1年生での低下傾向を抑え、2年生にかけて向上を図ることが求められます。

来週から、学校指導室職員による学校訪問を行い、6月検査以降の具体的な取組と今回の結果を受けての今後の取組について協議を行ってまいります。

また、校長会議、教頭会議においても、この結果分析を共有し、指導・

	<p>助言を予定しております。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
教育長	<p>只今の説明に対して、ご意見、ご質問等がありますでしょうか。</p> <p>確認ですが、このハイパーQU検査は、6月に検査を行い、その状況に対し改善策を講じて、11月にその改善策の効果があつたか確認をしているということですが、グラフを見ると、上がっているところもありますが、全体的には6月よりも落ちています。これについては、過去はもっと落ちていたのが、その改善策が功を奏して、落ち幅が少なくなったという説明だったと思いますが、そのような理解でよろしいですか。</p>
学校指導課長	<p>下がっているという現実を捉えると、課題はあるのですが、相対的な話をさせていただきました。</p>
教育長	<p>そうであれば、やはり、まだ取組が必要なところがたくさんあるということですね。これは市内全体の話ですから、各校によって、かなり差がありますので、先ほど最後の方に説明がありましたように、個別指導でその辺はしっかりと学校と話をしながら指導していくという理解でよろしいですか。</p>
学校指導課長	<p>はい。</p>
教育長	<p>わかりました。ほかに何か、ご意見、ご質問ありますか。</p>
佐々木委員	<p>中学校1年が群を抜いて高いのは、どうしてですか。</p>
学校指導課長	<p>千歳市に限らず、ほかの市町村でも見られている傾向と言われているのですが、入学直後は、やはり意欲に燃えているので、生活意欲が高まる傾向にあります。</p>
教育長	<p>このハイパーQU検査を全市すべての学年に導入しているのは、管内では千歳市だけですから、ぜひ、今後も有効活用したいと思っていますので、その辺りを踏まえて、学校訪問などで学校長と協議していただきたいと思います。</p> <p>これは、これでよろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（報告済み）</p>

教育長	<p>それでは、報告済みといたします。</p> <p>続きまして、報告第2号 平成30年度公益財団法人千歳青少年教育財団事業計画及び予算について、説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>それでは、私から添付資料の「平成30年度事業計画書及び収支予算書」に基づいてご説明申し上げます。</p> <p>はじめに、事業計画書についてご説明いたします。公益目的事業の一つ目、教育事業についてご説明します。</p> <p>1の学習講座開設事業についてであります、(1)の千歳水族館学習事業といたしまして、アからウまでの3事業を実施します。</p> <p>次に、リーダー養成事業として、(2)ジュニア・リーダー活動事業と(3)シニア・リーダー活動事業を実施します。そのほか(4)自然教室、(5)冬休み体験教室、(6)体験学習を実施します。</p> <p>2の社会教育関連事業といたしまして、(1)千歳青少年育成推進員の設置事業として、現在、千歳市教育委員会が委嘱している千歳市青少年育成推進員を教育財団が移管を受け、千歳青少年育成推進員として設置するほか、(2)緑の村キャンプ大会、(3)千歳の子どもクリスマスの集い、(4)ちとせっ子雪遊びの事業を実施します。</p> <p>3の教育機関支援事業につきましては、(1)から(4)までの協力をそれぞれ行います。</p> <p>公益目的事業の二つ目、水族館管理運営事業についてであります、こちらの部分につきましては、観光スポーツ部の所管となっておりますので、平成30年度の特徴的な部分についてのみ説明させていただきます。</p> <p>(4)の入館者の拡大推進についてであります、平成30年度につきましては、目標入館者数を25万人とし、そのうち15万4千人を有料入館者数としております。</p> <p>この目標を達成するために、アからカの事業を実施し入館者増を図ってまいります、新たな取り組みといたしまして、「イ」の「多言語システムの導入」では、昨年度導入した英語、繁体語、簡体語に、新たに韓国語、タイ語を加え、充実を図ります。また、「オ」の「館内売店の設置」では、来館者の満足度向上と千歳のPRを図るため、平成30年3月から財団運営による売店を水族館館内に設置します。</p> <p>2の年間パスポート会員の募集につきましては、大人の年会費を500円値上げして1,500円とし、小中学生を500円で継続するとともに、平成30年度の目標を(1)個人会員で8千人、(2)法人会員で80口としております。</p> <p>平成30年度収支予算書についてご説明いたします。</p> <p>公益目的事業会計は教育事業費と水族館管理運営事業費に係るもので</p>

	<p>あります。</p> <p>はじめに、Ⅰ事業活動収支の部の1事業活動収入からご説明します。</p> <p>③事業収入の2 水族館管理運営事業収入、これは入館料収入になりますが、有料入館者数を15万4千人と見込み、予算額90,860千円とし、前年と比較し26,000千円の減となっております。</p> <p>④の会員収入につきましては、個人・法人合わせまして12,000千円とし、前年と比較し、2,587千円の増となっております。</p> <p>⑤の補助金等収入につきましては、先ほどの水族館管理運営事業収入の減額を見込んだため、2の水族館管理運営事業補助金収入44,378千円で前年と比較し、10,694千円の増となっております。</p> <p>これらの結果、最下段の事業活動収入計(A)は、233,415千円となり、前年度と比較して5,667千円の減となっております。</p> <p>続きまして、2の事業活動支出についてご説明します。</p> <p>はじめに、①の事業費支出、1の教育事業費支出につきましては、21,928千円で、前年度と比較し、605千円の減となっております。</p> <p>減額の主な理由は、人件費の減とキャンプ用テントの備品費の減であります。</p> <p>次に、2の水族館管理運営事業費支出につきましては、150,372千円で、前年度と比較し、4,881千円の減となっております。</p> <p>減額の主な理由は、臨時職員の人員減による賃金の減、事務用品の節約による消耗品費の減、来館者へのプレゼントグッズの見直しによる宣伝広告費の減であります。</p> <p>続きまして、Ⅱ投資活動収支の部につきましては、建物附属設備として子どもたちが利用する学習室に設置する空調設備の購入などを計画しており、投資活動収入計(C)は8,600千円、中段 投資活動支出計(D)は15,858千円を計上しています。</p> <p>また、Ⅲ財務活動収支の部につきましては、借入金返済支出5千万円と、1年以内リース債務返済支出3,857千円を計上しています。</p> <p>最後に、法人会計についてであります。人件費等に若干の変動があるものの大きな増減はなく、前年度並みに予算となっております。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
教育長	只今の説明に対して、ご意見、ご質問等がありますでしょうか。
佐々木委員	新規事業はありますか。ほぼ継続事業ですか。
生涯学習課長	教育事業については、事業としては例年どおりで新しいものはありません。運営事業については、平成29年度からですが、イベントとして、「海

	と日本Project関連事業]、「Instagram・フォトキャンペーン」を新規に実施しています。それから、入館者の拡大推進として、先ほど説明しましたが、多言語システムの充実としまして、現行の英語、繁体語、簡体語のほかに、新たに韓国語、タイ語を加えたこと、今年の3月に開店予定ですが、館内売店を設置すること、これらが新しい取組になります。
教育長	多言語システムは、イヤホンで聞くタイプですか。
教育部長	スマートフォンをかざすと、解説文に英語などの外国語による説明が出るものです。
佐々木委員	SNSでInstagramをやっていますが、効果が出ているか検証はできるのでしょうか。ただやっているという自己満足で終わる場合があるので、可能であれば、状況をお知らせください。
生涯学習課長	申し訳ありませんが、数値的なものは確認ができていません。
佐々木委員	台湾やシンガポールなどには有名なブロガーがいて、その人が記事を掲載すると反響がすごいらしいです。それで、そういう人を雇い、ブログ記事を書いてもらって集客しているところもあるようです。 実際に、水族館の海外からの集客はどのような状況ですか。
教育部長	中国や韓国よりも、台湾やタイ、シンガポールが多いようです。
教育長	平成30年度入館者数の目標は25万人となっていますが、平成29年度の目標と実績はどうなっていますか。 それから、年間パスポートの個人会員目標は8千人となっていますが、こちらはいかがですか。
生涯学習課長	入館者数ですが、平成29年度の目標は、28万8千人でした。その前年の28年度は、34万8千人です。実績ですが、28年度は、25万9,660人、29年度は年度途中のため、数値は把握していません。見込みは25万1千人です。それに合わせて、現実的な数値目標としています。 年間パスポートの28年度実績は、個人会員が10,683人、29年度実績は2月上旬までの数字ですが、9,632人となっています。
教育長	年間パスポートは、その実績があるのに、なぜ30年度目標を下げたのですか。

教育部長	今回、年間パスポート料金を値上げしたので、少し落ちると見込み、下げております。
教育長	どうして値上げをしたのですか。
生涯学習課長	道内の他の水族館では、通常の入館料の約2倍を年間パスポートの金額として設定しているところが多いですので、同水準に見直しをしました。
教育長	30年度は、年間パスポートの発行目標人数を落としています。値上げすることによって、増収となるのか、減収となるのか、どのような見込みなのか、説明をお願いします。
生涯学習課長	個人会員に係る収入は、29年度予算では8,613千円のところ、会費の値上げによって30年度予算は、11,200千円としており、2,500千円ほど増額見込みとしています。
教育長	わかりました。
佐々木委員	毎年、年間会員になっている方は、だいたい固定していますので、新規会員が増えなければ、減る可能性の方が高いということになります。入館料以外の売上は、今度入る売店以外にありますか。
生涯学習課長	収益事業ではありませんが、例えば、雑収入のところ、これまでイベントのゲーム参加料は個人会員からは徴収していませんでしたが、これからは徴収しようということで、50万円ほど計上しています。
教育部長	基本的に収益事業は、入館料以外にはありません。売店についても来訪者の記念品や思い出となるようなグッズをおくといった程度ですので、収益事業というほどにはなりません。
教育長	ほかによろしいですか。
委員	一同了承（報告済み）
教育長	それでは、報告第2号については、報告済みといたします。 これもちまして、本日の教育委員会会議を終了します。お疲れ様でした。